

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	入居生活においてアクシデントの結果次第によっては、その後の生活の質の低下を伴うケースもある。そのようなケースを未然に防ぐため危機管理の意識をより高めていく。	各職員の危機管理能力を高めることによって、事故件数を軽減する。	危機管理委員会での事例検討をはじめ、グループホーム会議で個別検討。内外の研修への参加。またヒヤリハット班を中心に各ユニット職員へ1枚でも多くのヒヤリハットの提出を促す。	12ヶ月
2	4	地域の中に根ざしたグループホームになるために運営推進会議をもっと活発にする必要がある。	地域住民より認知症高齢者に対する理解を得られ、より地域に根ざした発信力のあるグループホームでありたい。	運営推進会議のメンバーのみならず、多くの利用者の御家族の参加・また地域住民の代表者等の参加を呼びかけ意見交換・学習会を行ったり、地域行事へ参加をする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。